委員会方針及び活動計画

社会・国際奉仕委員会
委員長　白岩　薫

活動方針

社会奉仕委員会

・「より大きなインパクトをもたらす」事業、「参加者の積極的なかかわりを促す」事業の活動立案のための研修と支援
・クラブの奉仕活動の情報収集

国際奉仕委員会

・グローバル補助金など、海外 RC との橋渡し
・「より大きなインパクトをもたらす」ための支援先情報の収集と精査
・支援事業の評価
・公共イメージ委員会との連携（両小委員会共通）

上記が、泉田ガバナーエレクトから当委員会へ示された事業目標です。これを踏まえ、“より大きなインパクトをもたらす奉仕プロジェクト”が実践されるよう各クラブの活動への支援を主軸として委員会活動を行ってまいります。
また、ポリオ根絶に向けた活動の継続も大変重要な項目の一つとして、関連情報を発信しながら理解と協力を得られるように進めてまいります。

活動計画

1)「より大きなインパクトをもたらす奉仕活動」の推進

“ロータリーインパクトハンドブック”の発行を機に、利活用を推進し、奉仕活動におけるインパクトの意味を正しく理解していただくと共に、長期的な変化をもたらす活動を目標としていただくための支援活動

2）ポリオ根絶活動の推進

世界ポリオデー（10 月 24 日）を基準として、ポリオに関する周知と募金活動の実施を各クラブにはたらきかける（公共イメージ、財団委員会と 3 委員会合同）

3）委員会セミナーの開催

9 月 13 日（土）　ユラックス熱海にて開催予定
ロータリー財団委員会との合同開催
事業関連の講師による講演

4）クラブの奉仕活動状況についての調査

奉仕活動状況、姉妹・友好クラブ関係等についてのアンケート調査を行い、現状を把握しながら次なる活動の検討材料とする。